



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成25年11月

うるわし通信

桜井市に新しい光が見え始めています

従来の市役所と一部の有力者による指導的であった活動が、一般市民主体の動きになっています。これは市民が提案し、市民による活動を元に、市が協働的に連携する姿勢で、過去の桜井市には無かった画期的な動きです。

たとえば、穴師における「勝利の聖」碑の建立も大きな出来事でした。地域住民の多大な努力により、昭和39年に開催された東京オリンピックにて、長谷川路可画伯のみすくねにより国立競技場に描かれた「野見宿禰画」の碑が、今年の7月7日に相撲神社へ奉納されました。

桜井市民が、記念碑の除幕式にあわせて相撲甚句を披露したり、そうめんの振るまいなどを行う一方、松井市長が日本相撲協会へ出向いて後援の依頼を陳情し、除幕式に八角親方が参列されたのは、まさしく市民と行政の協働の成果でしょう。

この事業に「うるわしの桜井をつくる会」も微力ながらお手伝いできた事を大変光栄に思っています。また、中和幹線道路沿いの関係企業に直接交渉した結果、景観に配慮した出店に至るなどの成果を上げることができました。

先月の産業廃棄物最終処理場の埋め立て終了のニュースは、今後の「まちおこし」に対するマイナスのイメージを払拭し、大きな障害が取り除かれ 未来へ向う勇気をももらった様な気がします。

今後は、会員の皆さまの豊富な経験や知識を元に具体的な政策として、桜井紀万葉プロジェクトにて桜井市にゆかりのある「額田王」について、明日香・大津・東近江の広域連合で取組んでいきます。

文責：藤井 義晴



相撲神社に建立された「勝利の聖」碑

高城修三講演会 「額田王と桜井」

主催 うるわしの桜井をつくる会

10月20日（日）芥川賞受賞作家で、以前桜井市に居を構え執筆活動をされていました、高城修三先生をお招きし、「額田王と桜井」について講演が開催されました。

始めは[本朝三美人]のお話で、当時は歌の素養がある事が必要条件とされましたので、
額田王と小野小町そとおひめそれに衣通姫とされています。衣通姫は允恭天皇の皇后でありました
おおなかつひめみこと
大中姫命の妹にあたり、透き通るような美人と称賛され、桜井に縁のある2人が選ばれています。

額田王は 生涯に12首を歌を読んでいます。
倭国の同盟国でありました百済が唐・新羅の連合軍により迫害を受けるに至り、齋明天皇・中大兄皇子・大海皇子を始め、時の政府が援軍のため九州に向いました。
途中、石湯行宮に立ち寄り労を癒しました、この行宮からの出立する呪歌（神に掲げる祈りの歌）として

にぎたづ
「熟田津に、船乗りせむと、月待てば、潮もかなひぬ、今は漕ぎ出でな」と詠んでいます。

当時の航海術は、浅瀬に停泊した舟が満月の夜に満潮に成ったのを見計らって沖に出港し、夜明けを待って漕ぎだしたと思われます。

白村江の戦いで敗れた政府は、差し迫る唐の脅威に都を飛鳥から近江への遷都を決断します。遷都の際には、当時の守り神でありました三輪山に祈りを込めて

「三輪山をしかもかくすか雲だにも心あらなむかくさふべしや」と詠んでいます。

667年の春に近江遷都され、翌年には中大兄皇子が天智天皇として即位し、国内の状況が
落ち着きを見せ始めた頃、この年の5月の節句に蒲生野で薬かもうの 獵くすりがりが行われました。その時の歌が
「茜さす、紫野行き、標野行き、野守は見ずや、君が袖振る」



高城修三講演会 市立図書館

当時、彼女は天智天皇の後でありましたが東宮でありました弟の大海皇子との間に十市皇女を設けています。この歌は、今までの呪歌から自身のこころ模様の雑歌を詠み、劇的な表現の変化があり文学の始まりとされています。

高城先生の著書「百歌繚乱」には、額田王の歌が2首選ばれ和歌の優れた歌人として紹介されています。

「百歌繚乱」日本の代表的な和歌から100首を選定された著書 発売元：文英堂

山は紅葉 里は酒づくり

紅葉で賑わう多武峰談山神社を中心にして、南の明日香村に「上」一字の「かむら」があり、北の桜井市に「下」一字の「しもむら」という里があります。その多武峰の麓の西内酒造では、この時期新酒づくりに忙しい毎日です。銘酒「貴醸酒」は故松下幸之助氏が愛飲したことで有名です。また「大吟醸」は新酒品評会で金賞を獲得した銘酒でであることは地元でも案外知られていませんが、これは宣伝よりも実直な酒づくりというオーナーのお人柄の反映でしょう。桜井市の誇る秘蔵の銘酒ですが、中でも新しく発売された、にごり酒「大名庄屋酒」720ml：1340円が好評発売中です。



明治初期創業の西内酒造

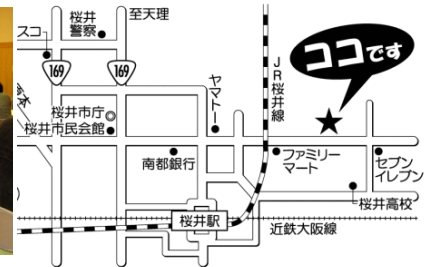


事務局だより

- 11月の常任理事会は11月16日（土）午後1時30分より「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）で行います。

第3回新春交流昼食会

少し早いですが、大好評でした交流昼食会を来年も開催します。久しぶりの姿や相変らずの姿を見せにやって来て下さい。
 日時 平成26年1月25日（土）正午より
 場所 桜井市粟殿「あるぼ〜る」



お知らせ

- 図書館友の会の11月読書会は「本覚坊遺文(井上 靖 著)：講談社文庫」です。

日時 11月26日(火)午後1時30分から

場所 まほろばセンター第1研修室

問い合わせ先

友の会会員以外の参加も歓迎します。

浅川肇：090-1961-6345

- HANARART2013 奈良・町屋の芸術祭はならあと 桜井本町

歴史的な町家・町並みに、斬新な発想や未来を予見する現代アートを組み合わせることで、「まち」が今までと違う表情や機能を持ち、その可能性が広がると2011年から開催され、今年も桜井本町エリアでも開催されることになりました。本町通り周辺の町屋や来迎寺そして桜井が生んだ昭和の文芸評論家である保田與重郎生家などで開催されます。

日時 11月16日(土)～26日(火)午前10時～午後5時(会場により異なります)

場所 桜井本町周辺から等彌神社までの間

問合せ先 はならあと桜井事務局 0744-45-1322



編集後記 今回、一身上の都合により本紙の編集をおりにします。永い間のご支援を深謝しています。(あさ)

うるわし通信編集責任者
 〒633-0091
 桜井市桜井142-5-203
 浅川 肇
 TEL090-1961-6345